



「藤城清治光のファンタジー」開幕



オープニングセレモニーでイーハトーブ合唱隊の合唱に聴き入る藤城清治さん(写真左)。藤城さんの作品展は本県初開催です

日本を代表する影絵作家、藤城清治さんの作品展「宮沢賢治没後80年記念 藤城清治光のファンタジー」が9月7日、花巻市博物館で開幕しました。

初日は、公開に先立ってオープニングセレモニーを開催。藤城さんが賢治童話がテーマの作品を、賢治の故郷で多くの皆さんに見てもらいたい」とあいさつし、市長など関係者と共にテープカットを行いました。

藤城さんの作品を目にした皆さんは、色彩のコントラストが作り出す世界を堪能しました。

没後80年 賢治への思い強く



方言交じりの群読「雨ニモマケズ」と「ポーロの広場の歌」の合唱を披露した南城小学校児童の皆さん

宮沢賢治の命日に当たる9月21日、「賢治祭」が桜町の「雨ニモマケズ」詩碑前で行われました。

会場を埋め尽くすほど大勢の賢治ファンが全国各地から参加。全員による献花と黙とう、「精神歌」斉唱に続き、市民の皆さんによる賢治作品の朗読や合唱、演劇などが披露されました。

没後80年の今回は、記念講演や同詩碑除幕式(昭和11年)の映像上映を実施。参加した皆さんは偉大な先人への思いをいっそう強くしました。

地域活性化に期待



調印後に握手する(左から)市長、井出純一ジャパンロジスティクス株式会社代表取締役社長、飛鳥川和彦県企業立地推進課総括課長

ジャパンロジスティクス株式会社と本市との企業立地協定書調印式が9月10日、ホテル花巻で行われました。

貨物運送業などを事業とする同社は、物流拠点として二枚橋地内の用地と建物を得し、「いわて花巻物流センター」を整備。地元から46人を雇用し、10月21日に操業を開始する予定です。

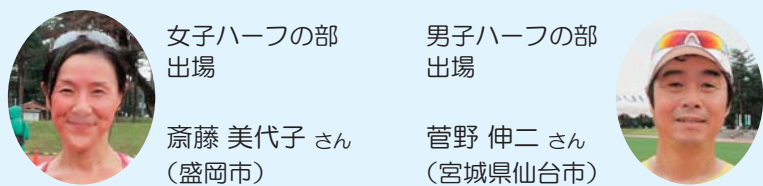
調印式に出席した井出純一代表取締役社長は、「花巻が活性化するようにわれわれも応援したい」とあいさつ。地域経済の発展が期待されます。

賢治の里を駆け抜ける

第1回イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会は9月8日、日居城野陸上競技場を発着点に開かれました。種目は、ハーフマラソン(21.0975km)、10km、3kmの3部門。県内外から1053人がエントリーし、それぞれの種目で健脚を競いました。

当日は雨が次第に強まる中、沿道の声援に励み、選手は懸命にゴールを目指し、賢治の里を駆け抜けました。

ゴール後にはひつつみなどが振る舞われ、選手の体を温めていました。



女子ハーフの部 出場

齋藤 美代子 さん (盛岡市)

沿道の皆さんから「頑張れ」「今何番目だよ」などの温かい声援をいただきました。花巻東高校の生徒の応援も励みになりました。コースはアップダウンが少なく走りやすかったです。来年もぜひ参加したいと思います。



男子ハーフの部 出場

菅野 伸二 さん (宮城県仙台市)

コース途中のなだらかな登りがちょうどいい刺激になりました。他の大会では、給水所が混雑してしまうことがありますが、この大会ではスムーズに運営されていて助かりました。沿道からの声援も大きな力になりました。